

平成 28 年

性的マイノリティ支援のための暮らしと意識に関する実態調査  
報告書

平成 28 年 11 月

世田谷区生活文化部人権・男女共同参画担当課

## 目次

### 調査概要

(1) 調査目的 .....	3
(2) 実施期間 .....	3
(3) 調査対象 .....	3
(4) 回収数 .....	3
(5) 調査主体 .....	3
(6) 調査協力 .....	3
(7) 備考 .....	3

### 調査結果

(1) 年齢について .....	4
(2) 居住地について .....	4
(3) セクシュアリティについて.....	5
(4) カミングアウトについて.....	7
(5) パートナーシップについて .....	8
(6) 雇用形態について.....	10
(7) 行政の取り組みについて .....	10
(8) 生活する上で直面する困難について.....	15
(9) 補足 .....	19
(10) 用語解説.....	23

## 調査概要

### (1) 調査目的

世田谷区では、「世田谷区第二次男女共同参画プラン」の策定準備を進めています。  
本調査は、次期プランの策定に活かすとともに、その後の具体的な取り組みの検討に用いるために実施しました。

### (2) 実施期間

2016年8月22日～2016年9月11日の21日間

### (3) 調査対象

性的マイノリティ当事者

### (4) 回収数

1,036票(うち有効回答 965票)

### (5) 調査主体

世田谷区生活文化部人権・男女共同参画担当課

### (6) 調査協力

特定非営利活動法人 ReBit

### (7) 備考

各パーセンテージは、小数点第二位以下を四捨五入した数値を記載しています。

複数回答可の項目では、割合の累計が100%にならない場合があります。

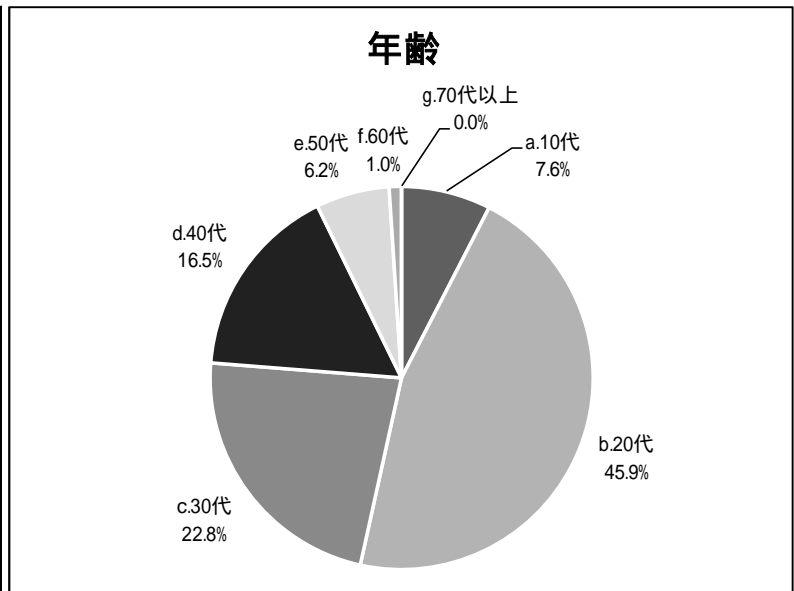
「LGBT」という単語は、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字をとった言葉です。本調査では「LGBT」を性的指向および性自認等により困難を抱えているひと(セクシュアルマイノリティまたは性的マイノリティ、性的少数者)と同じ意味で便宜上、使用しています。

## 調査結果

### (1) 年齢について

Q1. あなたの年齢をお答えください。 回答必須

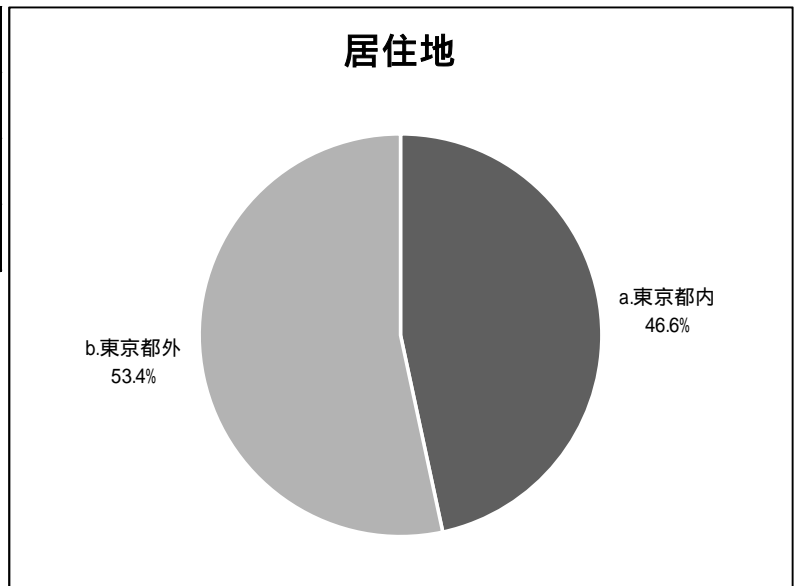
選択肢	回答数	割合
a.10代	73	7.6%
b.20代	443	45.9%
c.30代	220	22.8%
d.40代	159	16.5%
e.50代	60	6.2%
f.60代	10	1.0%
g.70代以上	0	0.0%
<b>回答者数</b>	<b>965</b>	<b>100.0%</b>



### (2) 居住地について

Q2. あなたが現在お住まいの地域をお答えください。 回答必須

選択肢	回答数	割合
a.東京都内	450	46.6%
b.東京都外	515	53.4%
<b>回答者数</b>	<b>965</b>	<b>100.0%</b>

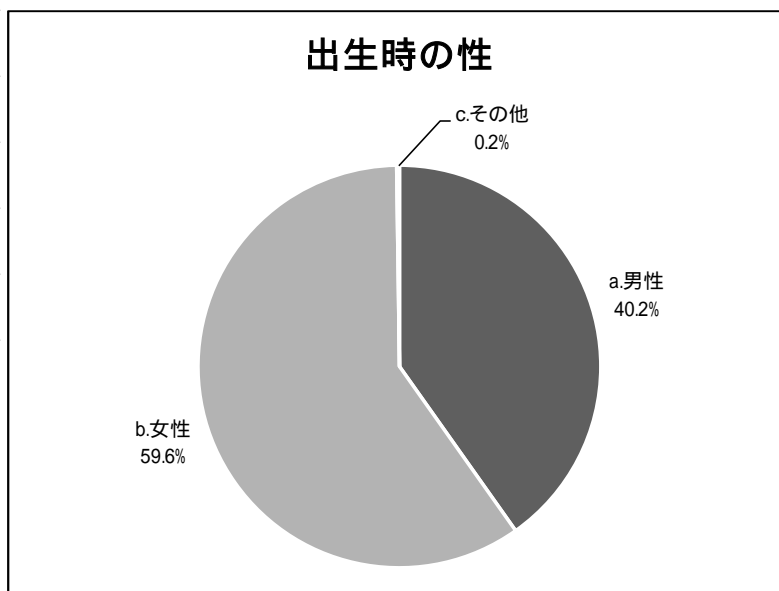


(3) セクシュアリティについて

出生時の性

Q3. あなたの出生時に届け出られた性別をお答えください。 回答必須

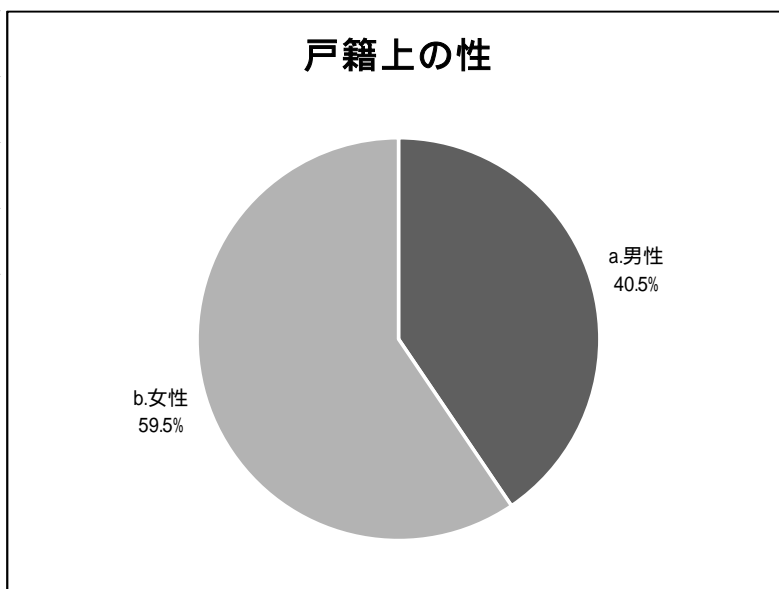
選択肢	回答数	割合
a.男性	388	40.2%
b.女性	575	59.6%
c.その他	2	0.2%
回答者数	965	100.0%



戸籍上の性

Q4. あなたの現在の戸籍上の性別をお答えください。 回答必須

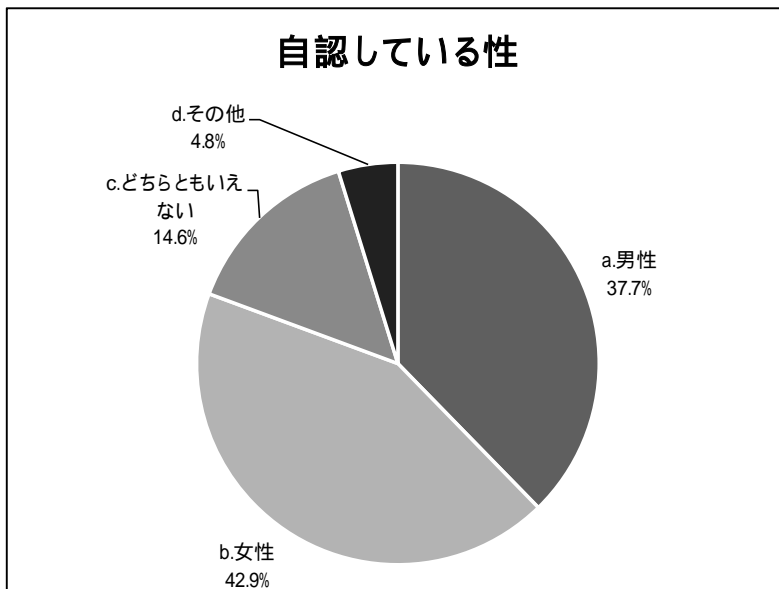
選択肢	回答数	割合
a.男性	391	40.5%
b.女性	574	59.5%
回答者数	965	100.0%



### 自認している性

Q5. あなたが現在自認している性別をお答えください。 回答必須

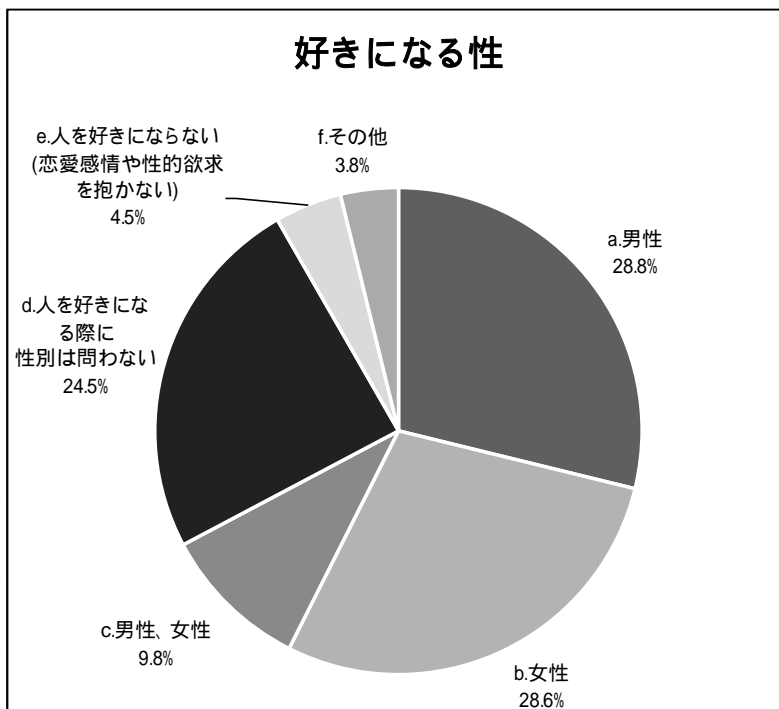
選択肢	回答数	割合
a.男性	364	37.7%
b.女性	414	42.9%
c.どちらともいえない	141	14.6%
d.その他	46	4.8%
<b>回答者数</b>	<b>965</b>	<b>100.0%</b>



### 好きになる性

Q6. あなたが好きになる相手の性別をお答えください。 回答必須

選択肢	回答数	割合
a.男性	278	28.8%
b.女性	276	28.6%
c.男性、女性	95	9.8%
d.人を好きになる際に性別は問わない	236	24.5%
e.人を好きにならない (恋愛感情や性的欲求を抱かない)	43	4.5%
f.その他	37	3.8%
<b>回答者数</b>	<b>965</b>	<b>100.0%</b>

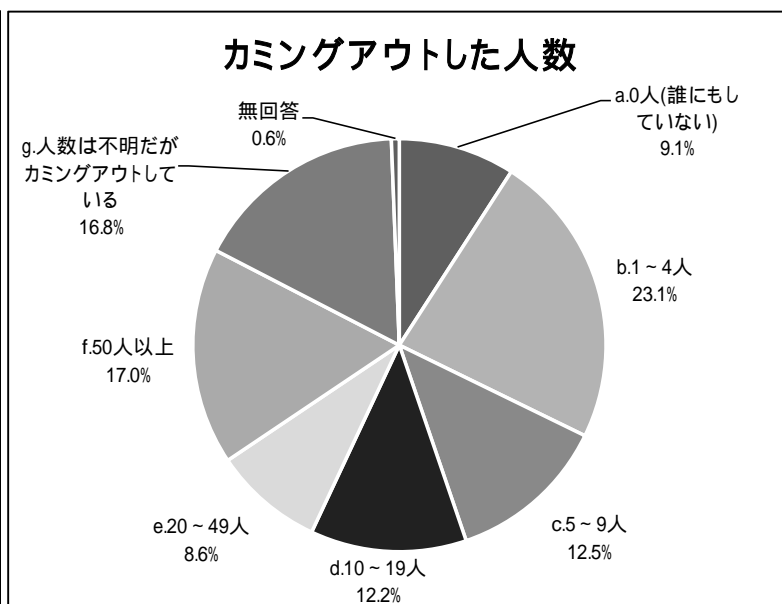


(4) カミングアウトについて

カミングアウトした人数

Q7. あなたがこれまでにカミングアウトした(性的少数者だと伝えた)人数をお答えください。

選択肢	回答数	割合
a.0人(誰にもしていない)	88	9.1%
b.1~4人	223	23.1%
c.5~9人	121	12.5%
d.10~19人	118	12.2%
e.20~49人	83	8.6%
f.50人以上	164	17.0%
g.人数は不明だがカミングアウトしている	162	16.8%
回答者数	959	99.4%
無回答	6	0.6%
計	965	100.0%

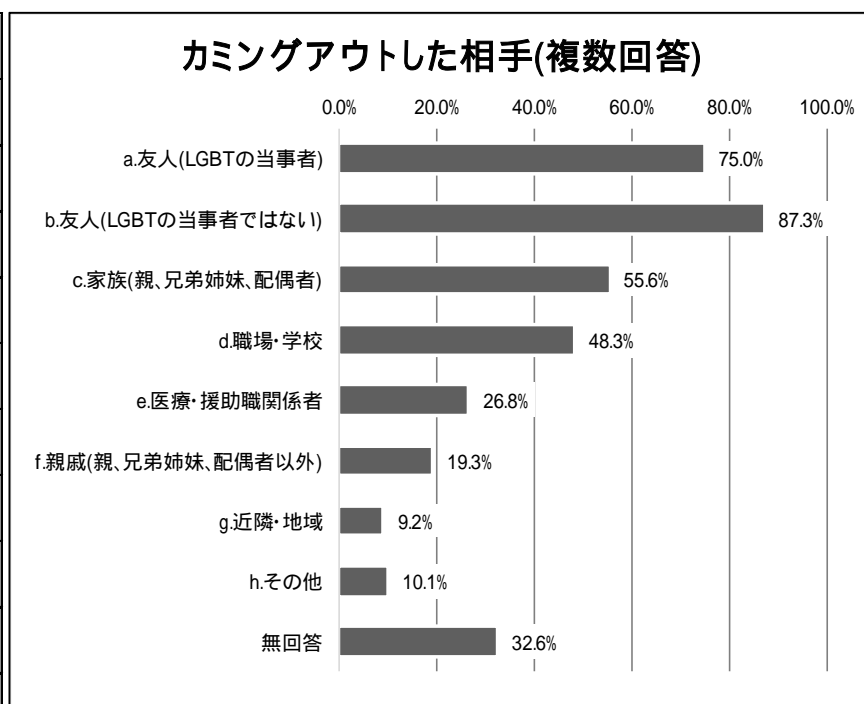


カミングアウトした相手

Q8. Q7 で b~g を選択した方に伺います。あなたがこれまでにカミングアウトした相手をお答えください。

(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
a.友人(LGBTの当事者)	653	75.0%
b.友人(LGBTの当事者ではない)	760	87.3%
c.家族(親、兄弟姉妹、配偶者)	484	55.6%
d.職場・学校	421	48.3%
e.医療・援助職関係者	233	26.8%
f.親戚(親、兄弟姉妹、配偶者以外)	168	19.3%
g.近隣・地域	80	9.2%
h.その他	88	10.1%
回答者数	587	67.4%
無回答	284	32.6%
計	871	100.0%

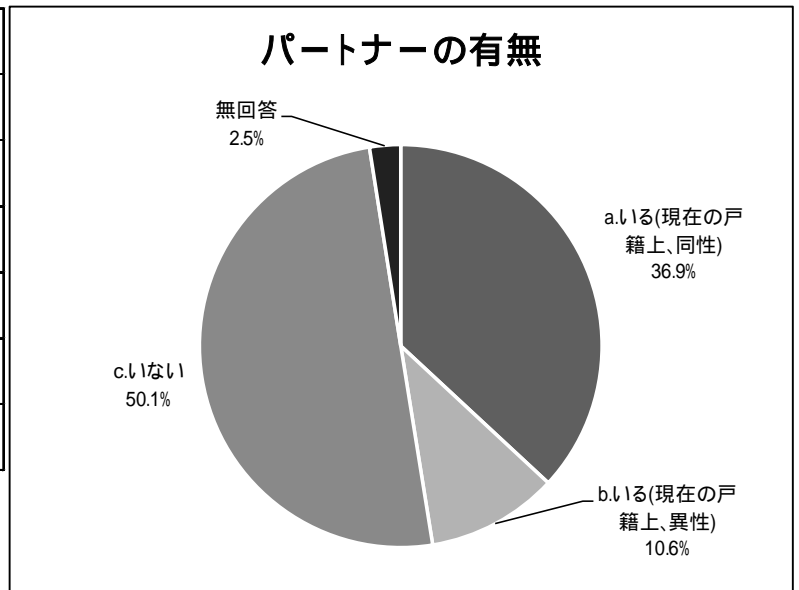


(5) パートナーシップについて

パートナーの有無

Q9. あなたが現在パートナーと認識している人物(以下、パートナーと記載)の有無をお答えください。

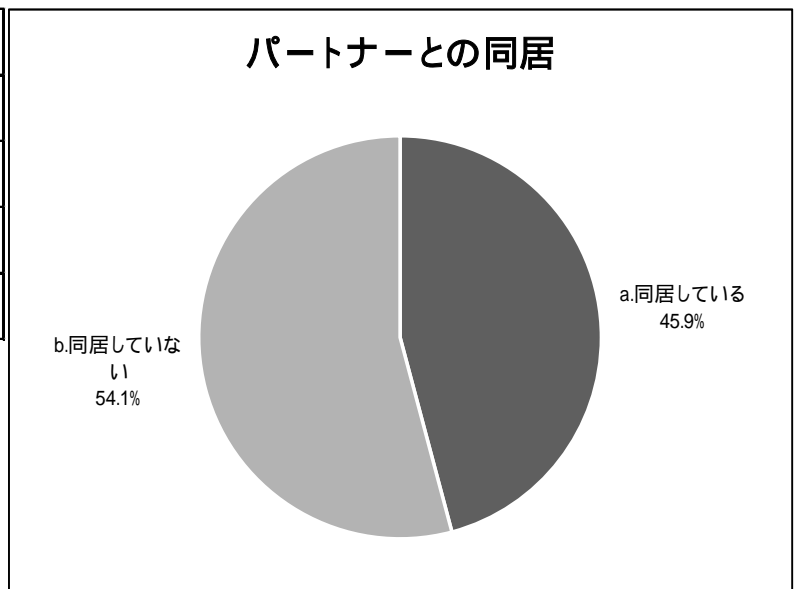
選択肢	回答数	割合
a.いる(現在の戸籍上、同性)	356	36.9%
b.いる(現在の戸籍上、異性)	102	10.6%
c.いない	483	50.1%
回答者数	941	97.5%
無回答	24	2.5%
<b>計</b>	<b>965</b>	<b>100.0%</b>



-1 パートナーとの同居

Q10. Q9で「a.いる(現在の戸籍上、同性)」「b.いる(現在の戸籍上、異性)」を選択された方に伺います。パートナーとの同居についてお答えください。

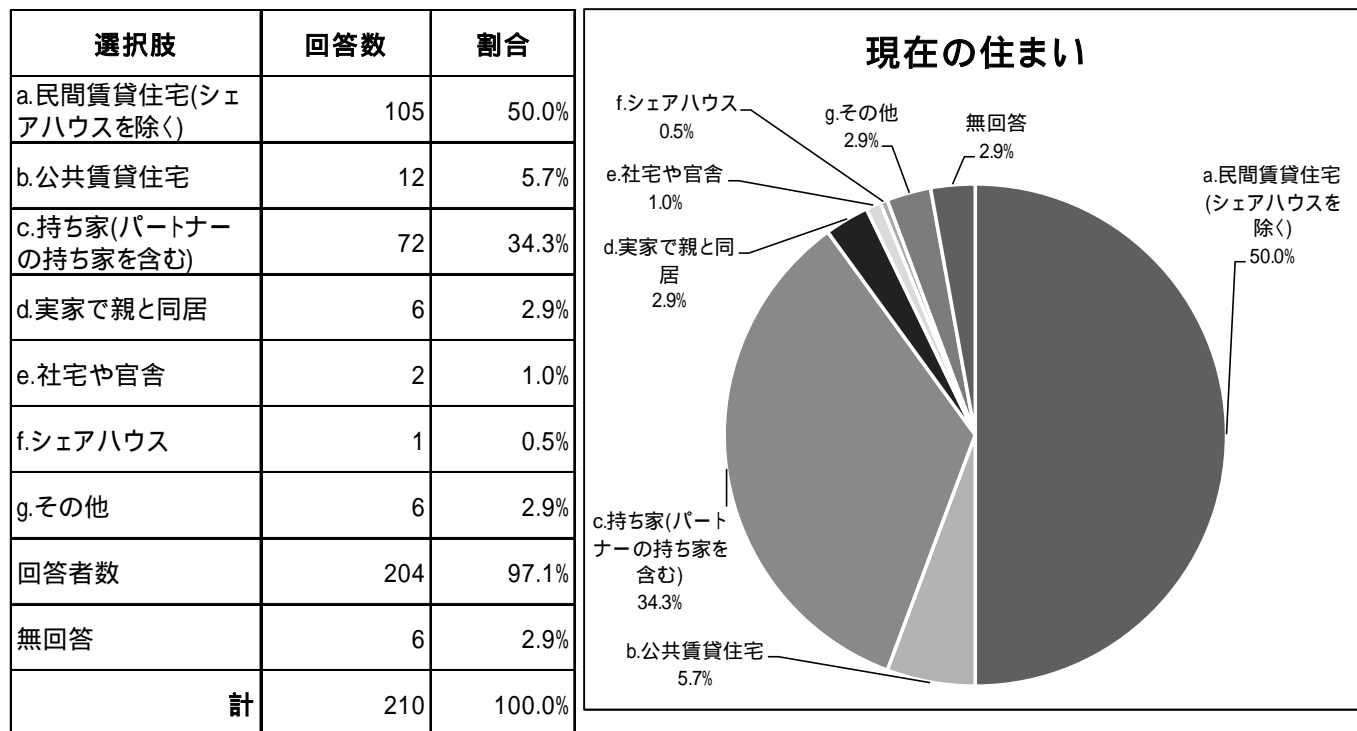
選択肢	回答数	割合
a.同居している	210	45.9%
b.同居していない	248	54.1%
回答者数	458	100.0%
<b>計</b>	<b>458</b>	<b>100.0%</b>





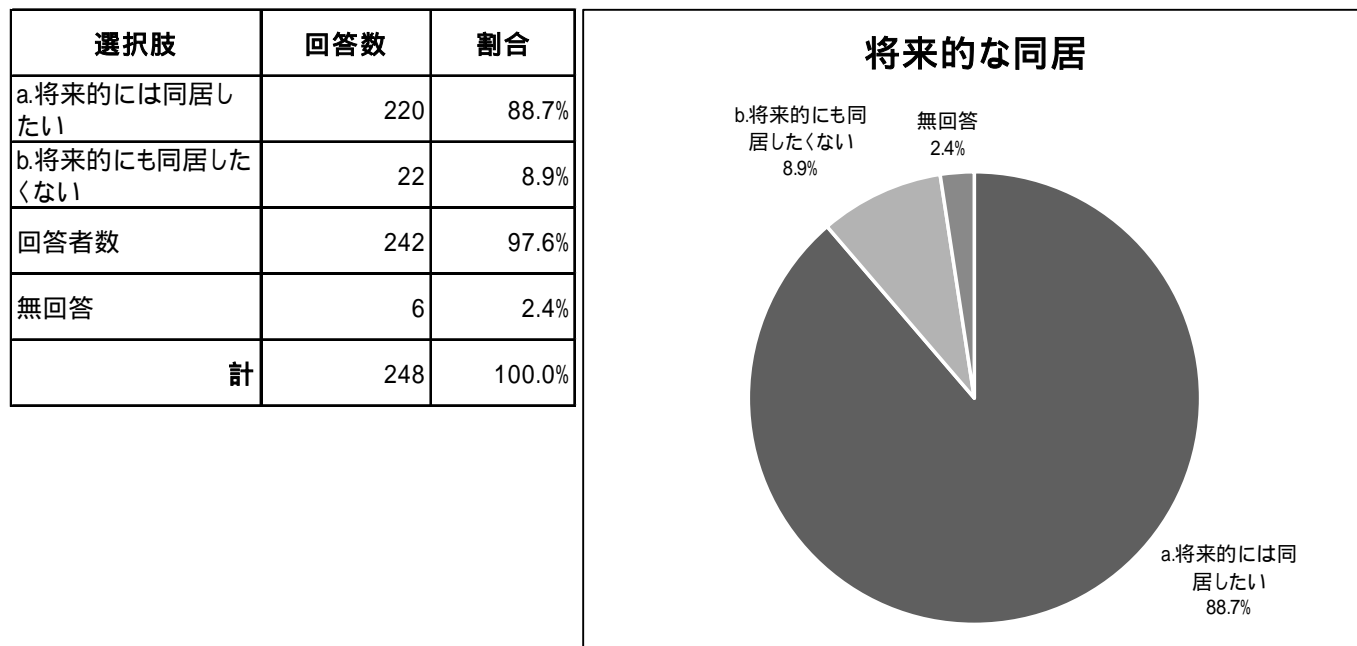
-2 現在の住まい

Q11. Q10で「a.同居している」を選択された方に伺います。現在のお住まいについてお答えください。



-3 将来的な同居

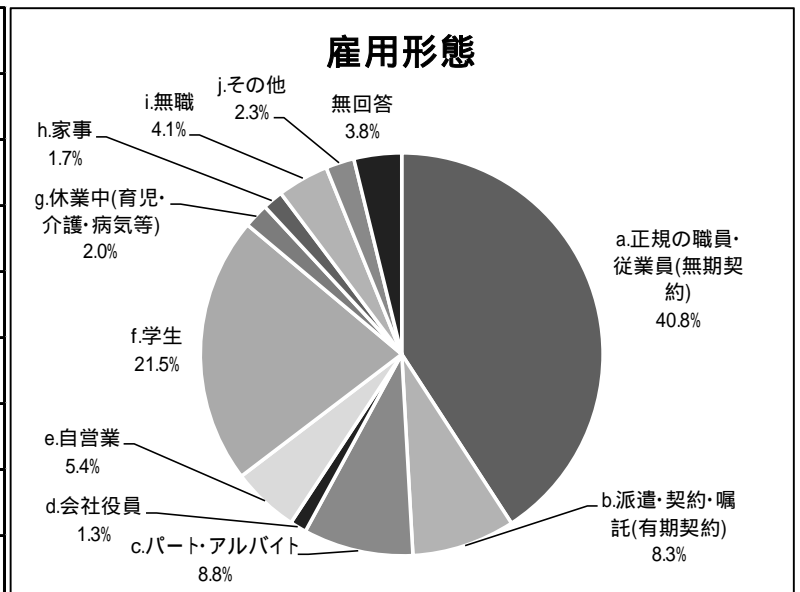
Q12. Q10で「b.同居していない」を選択された方に伺います。将来的に同居することを考えているかお答えください。



(6) 雇用形態について

Q13. あなたの現在の雇用形態をお答えください。

選択肢	回答数	割合
a.正規の職員・従業員(無期契約)	394	40.8%
b.派遣・契約・嘱託(有期契約)	80	8.3%
c.パート・アルバイト	85	8.8%
d.会社役員	13	1.3%
e.自営業	52	5.4%
f.学生	207	21.5%
g.休業中(育児・介護・病気等)	19	2.0%
h.家事	16	1.7%
i.無職	40	4.1%
j.その他	22	2.3%
回答者数	928	96.2%
無回答	37	3.8%
計	965	100.0%

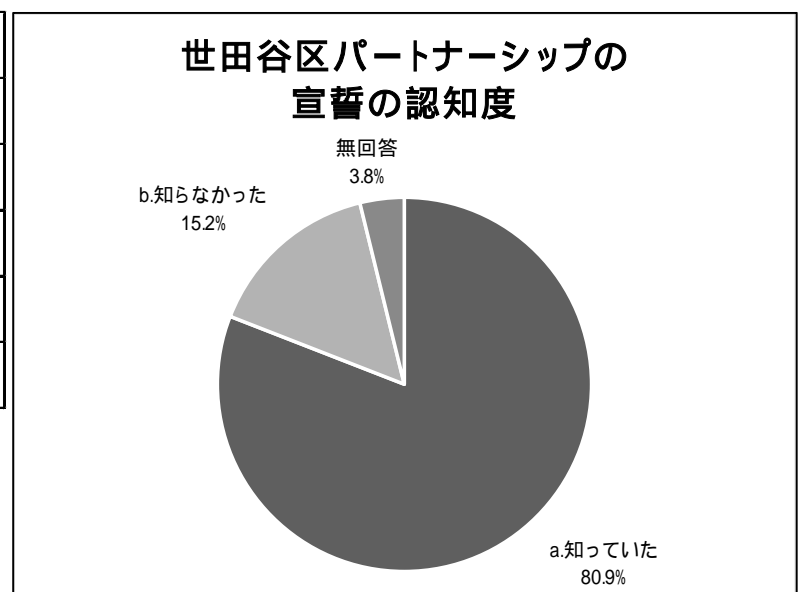


(7) 行政の取り組みについて

世田谷区パートナーシップの宣誓の認知度

Q14. あなたは「世田谷区パートナーシップの宣誓」という取り組みがあることを知っていますか。

選択肢	回答数	割合
a.知っていた	781	80.9%
b.知らなかった	147	15.2%
回答者数	928	96.2%
無回答	37	3.8%
計	965	100.0%

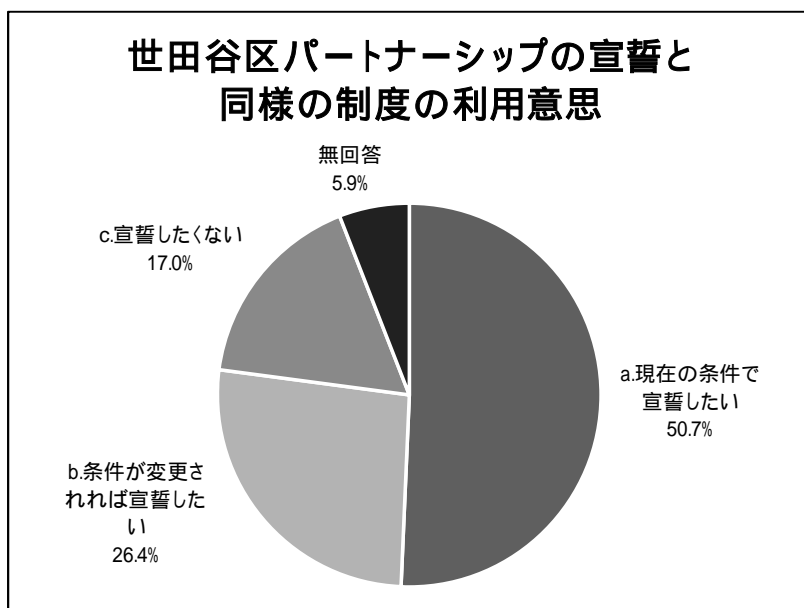


-1 世田谷区パートナーシップの宣誓と同様の制度の利用意思

Q15. あなたがお住いの自治体で「世田谷区パートナーシップの宣誓」と同様の制度があれば利用したいと思いますか。条件は次のようなものです。

- (1) 双方が20歳以上
- (2) 双方が区内(市内)に同一の住所を有する、または、一方が区内(市内)に住所を有し、かつ他の一方が区内(市内)への転入を予定していること
- (3) 双方が親きょうだいでないこと
- (4) 手続き時、他の人と婚姻していないこと

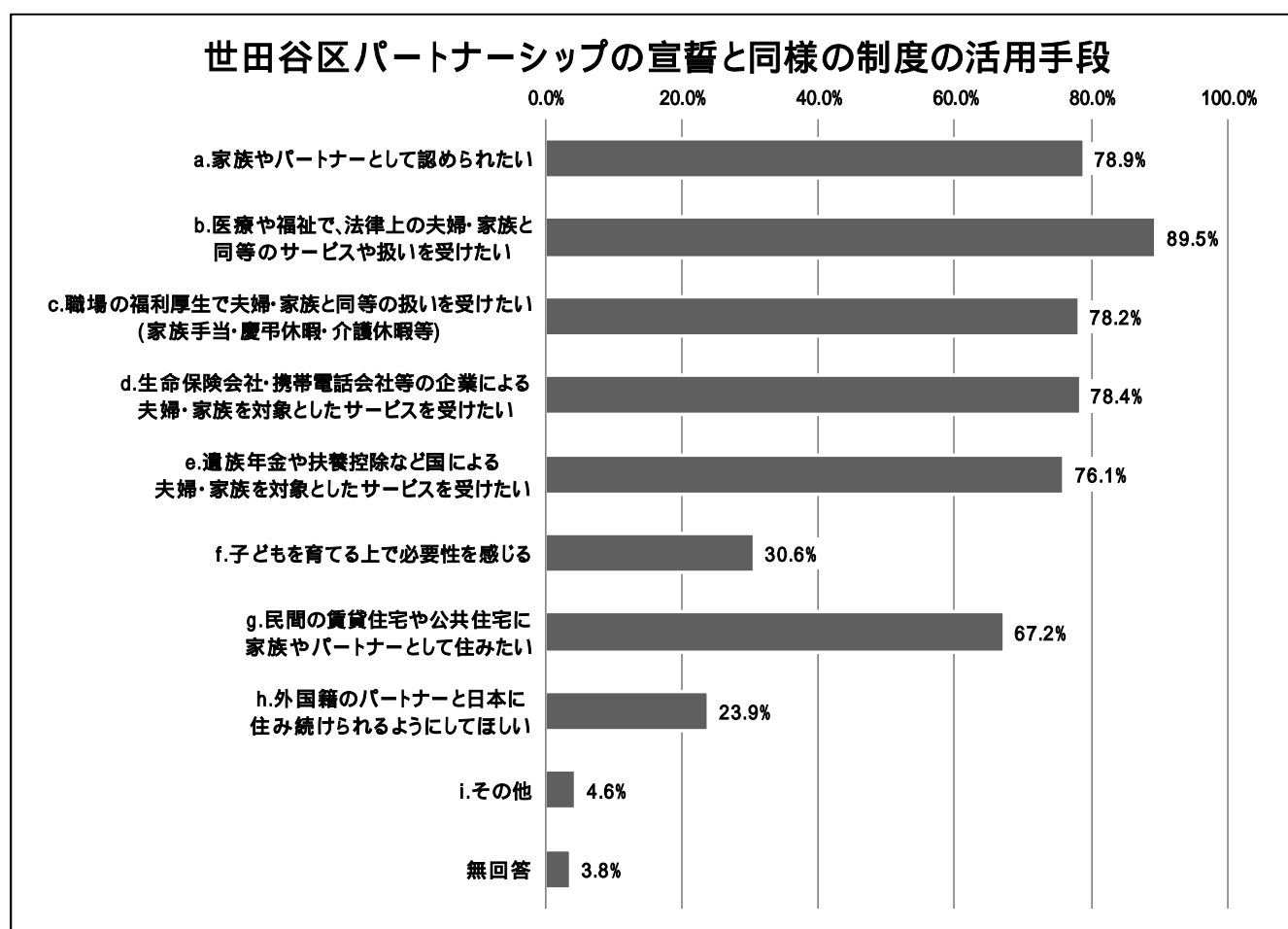
選択肢	回答数	割合
a.現在の条件で宣誓したい	489	50.7%
b.条件が変更されれば宣誓したい	255	26.4%
c.宣誓したくない	164	17.0%
回答者数	908	94.1%
無回答	57	5.9%
<b>計</b>	965	100.0%



-2 世田谷区パートナーシップの宣誓と同様の制度の活用手段

Q16. Q15 で「a,現在の条件で宣誓したい」「b,条件が変更されれば宣誓したい」を選択された方に伺います。  
「パートナーシップの宣誓」(と同様の制度)の活用手段としてあなたが期待することをお答えください。(複数回答可)

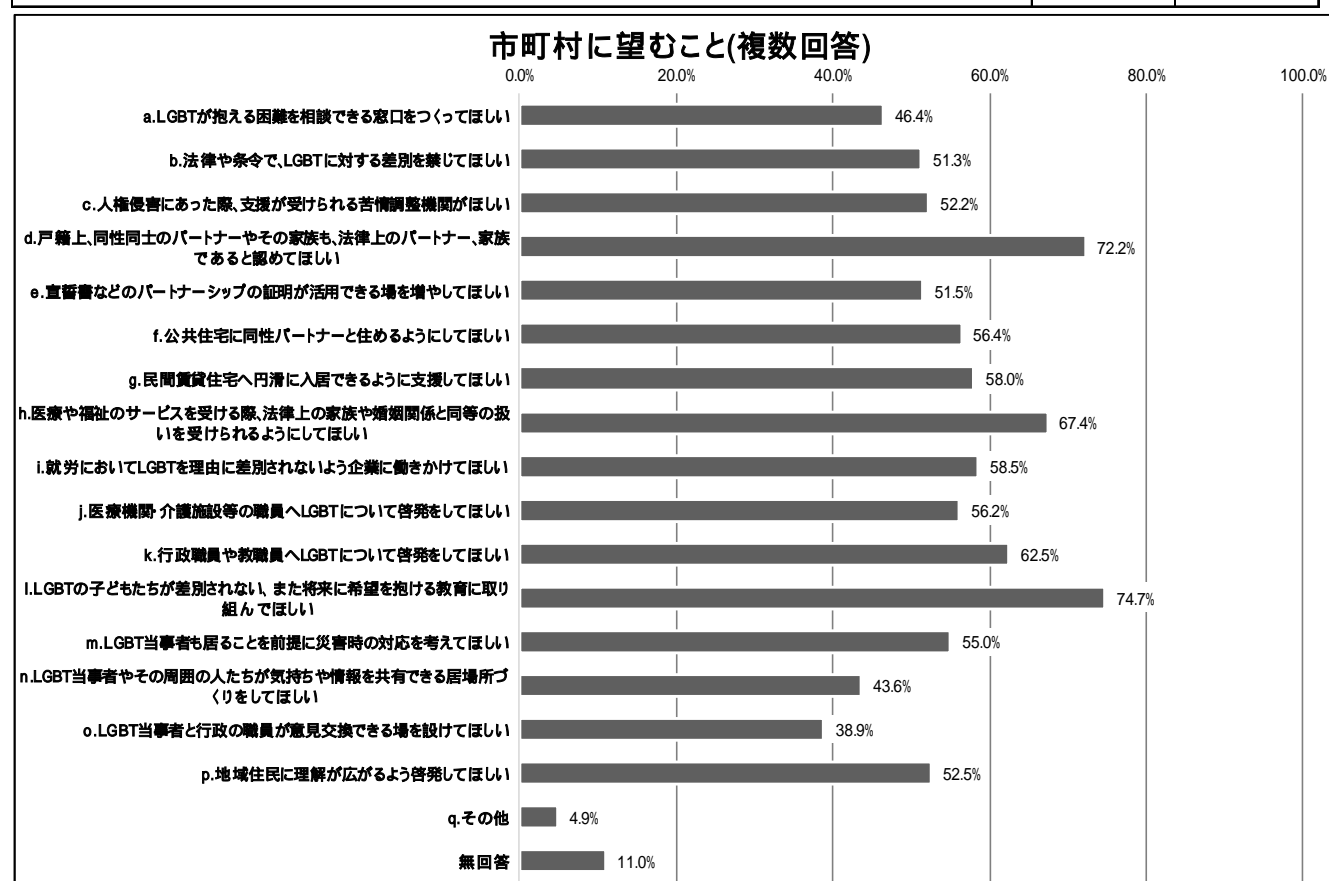
選択肢	回答数	割合
a.家族やパートナーとして認められたい	587	78.9%
b.医療や福祉で、法律上の夫婦・家族と同等のサービスや扱いを受けたい	666	89.5%
c.職場の福利厚生で夫婦・家族と同等の扱いを受けたい(家族手当・慶弔休暇・介護休暇等)	582	78.2%
d.生命保険会社・携帯電話会社等の企業による夫婦・家族を対象としたサービスを受けたい	583	78.4%
e.遺族年金や扶養控除など国による夫婦・家族を対象としたサービスを受けたい	566	76.1%
f.子どもを育てる上で必要性を感じる	228	30.6%
g.民間の賃貸住宅や公共住宅に家族やパートナーとして住みたい	500	67.2%
h.外国籍のパートナーと日本に住み続けられるようにしてほしい	178	23.9%
i.その他	34	4.6%
回答者数	716	96.2%
無回答	28	3.8%
計	744	100.0%



市区町村に望むこと

Q17. あなたが区市町村に望むことを教えてください(複数回答可)

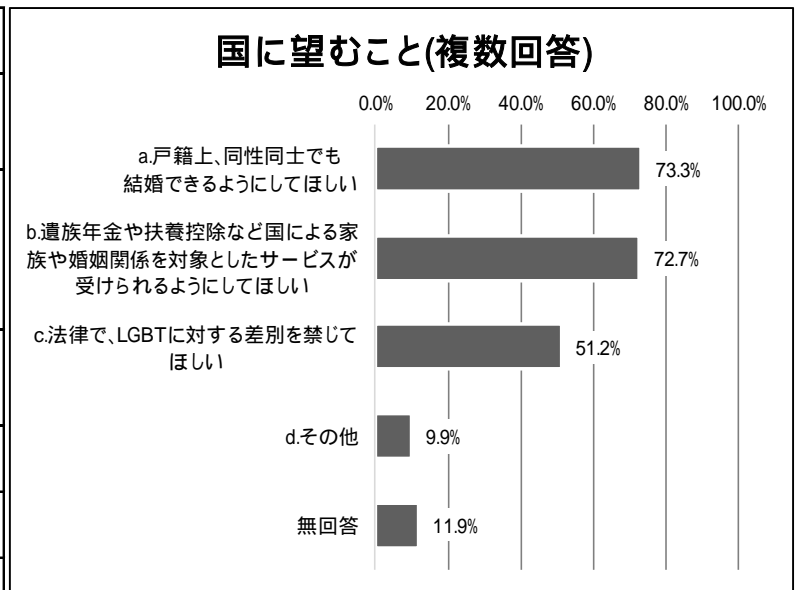
選択肢	回答数	割合
a.LGBTが抱える困難を相談できる窓口をつくってほしい	448	46.4%
b.法律や条令で、LGBTに対する差別を禁じてほしい	495	51.3%
c.人権侵害にあった際、支援が受けられる苦情調整機関がほしい	504	52.2%
d.戸籍上、同性同士のパートナーやその家族も、法律上のパートナー、家族であると認めてほしい	697	72.2%
e.宣誓書などのパートナーシップの証明が活用できる場を増やしてほしい	497	51.5%
f.公共住宅に同性パートナーと住めるようにしてほしい	544	56.4%
g.民間賃貸住宅へ円滑に入居できるように支援してほしい	560	58.0%
h.医療や福祉のサービスを受ける際、法律上の家族や婚姻関係と同等の扱いを受けられるようにしてほしい	650	67.4%
i.就労においてLGBTを理由に差別されないよう企業に働きかけてほしい	565	58.5%
j.医療機関・介護施設等の職員へLGBTについて啓発してほしい	542	56.2%
k.行政職員や教職員へLGBTについて啓発してほしい	603	62.5%
l.LGBTの子どもたちが差別されない、また将来に希望を抱ける教育に取り組んでほしい	721	74.7%
m.LGBT当事者も居ることを前提に災害時の対応を考えてほしい	531	55.0%
n.LGBT当事者やその周囲の人たちが気持ちや情報を共有できる居場所づくりをしてほしい	421	43.6%
o.LGBT当事者と行政の職員が意見交換できる場を設けてほしい	375	38.9%
p.地域住民に理解が広がるよう啓発してほしい	507	52.5%
q.その他	47	4.9%
回答者数	859	89.0%
無回答	106	11.0%
計	965	100.0%



## 国に望むこと

Q18. あなたが国に望むことを教えてください(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
a.戸籍上、同性同士でも結婚できるようにしてほしい	707	73.3%
b.遺族年金や扶養控除など国による家族や婚姻関係を対象としたサービスが受けられるようにしてほしい	702	72.7%
c.法律で、LGBTに対する差別を禁じてほしい	494	51.2%
d.その他	96	9.9%
回答者数	850	88.1%
無回答	115	11.9%
<b>計</b>	<b>965</b>	<b>100.0%</b>

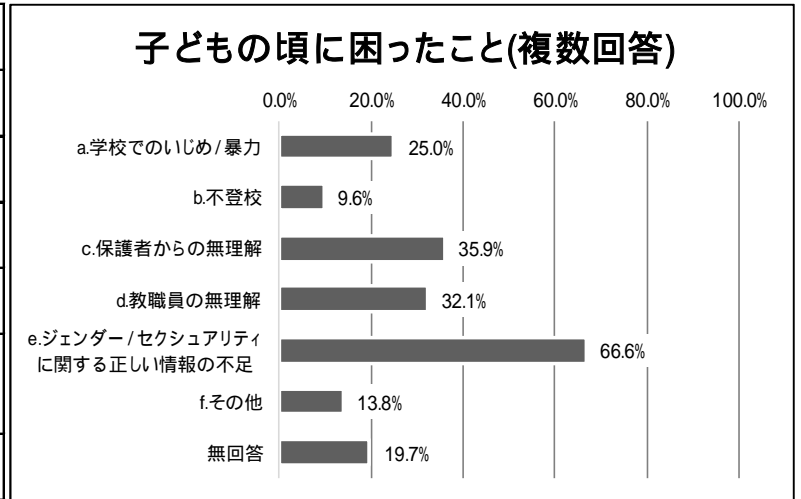


(8) 生活する上で直面する困難について

子どもの頃に困ったこと

Q19. あなたが、子どもの頃にジェンダー/セクシュアリティに由来し(LGBT 当事者であることで)困ったことを教えてください。(複数回答可)

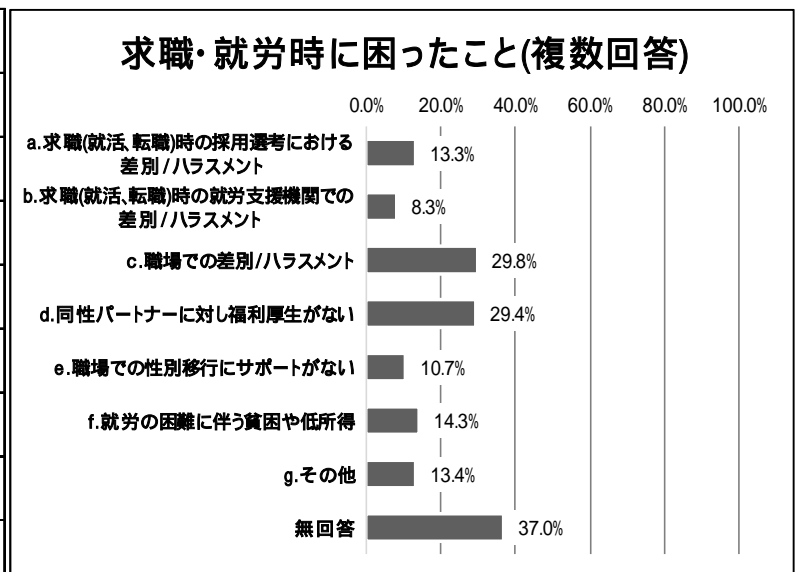
選択肢	回答数	割合
a.学校でのいじめ/暴力	241	25.0%
b.不登校	93	9.6%
c.保護者からの無理解	346	35.9%
d.教職員の無理解	310	32.1%
e.ジェンダー/セクシュアリティに関する正しい情報の不足	643	66.6%
f.その他	133	13.8%
回答者数	775	80.3%
無回答	190	19.7%
計	965	100.0%



求職・就労時に困ったこと

Q20. あなたが求職・就労時ジェンダー/セクシュアリティに由来し(LGBT 当事者であることで)困ったことを教えてください。(複数回答可)

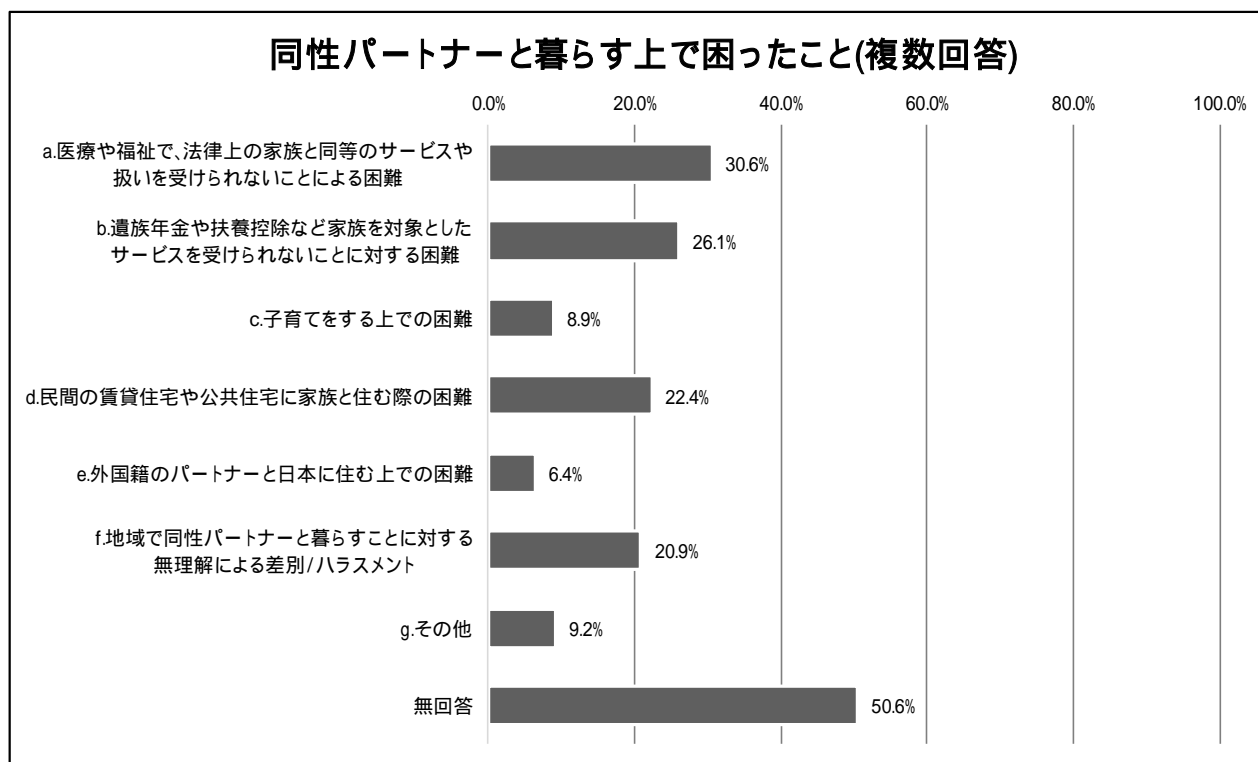
選択肢	回答数	割合
a.求職(就活、転職)時の採用選考における差別/ハラスメント	128	13.3%
b.求職(就活、転職)時の就労支援機関での差別/ハラスメント	80	8.3%
c.職場での差別/ハラスメント	288	29.8%
d.同性パートナーに対し福利厚生がない	284	29.4%
e.職場での性別移行にサポートがない	103	10.7%
f.就労の困難に伴う貧困や低所得	138	14.3%
g.その他	129	13.4%
回答者数	608	63.0%
無回答	357	37.0%
計	965	100.0%



## 同性パートナーと暮らす上で困ったこと

Q21. あなたが、同性パートナーと暮らす上で困ったことを教えてください。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
a.医療や福祉で、法律上の家族と同等のサービスや扱いを受けられないことによる困難	295	30.6%
b.遺族年金や扶養控除など家族を対象としたサービスを受けられないことに対する困難	252	26.1%
c.子育てをする上での困難	86	8.9%
d.民間の賃貸住宅や公共住宅に家族と住む際の困難	216	22.4%
e.外国籍のパートナーと日本に住む上での困難	62	6.4%
f.地域で同性パートナーと暮らすことに対する無理解による差別/ハラスメント	202	20.9%
g.その他	89	9.2%
回答者数	477	49.4%
無回答	488	50.6%
<b>計</b>	<b>965</b>	<b>100.0%</b>

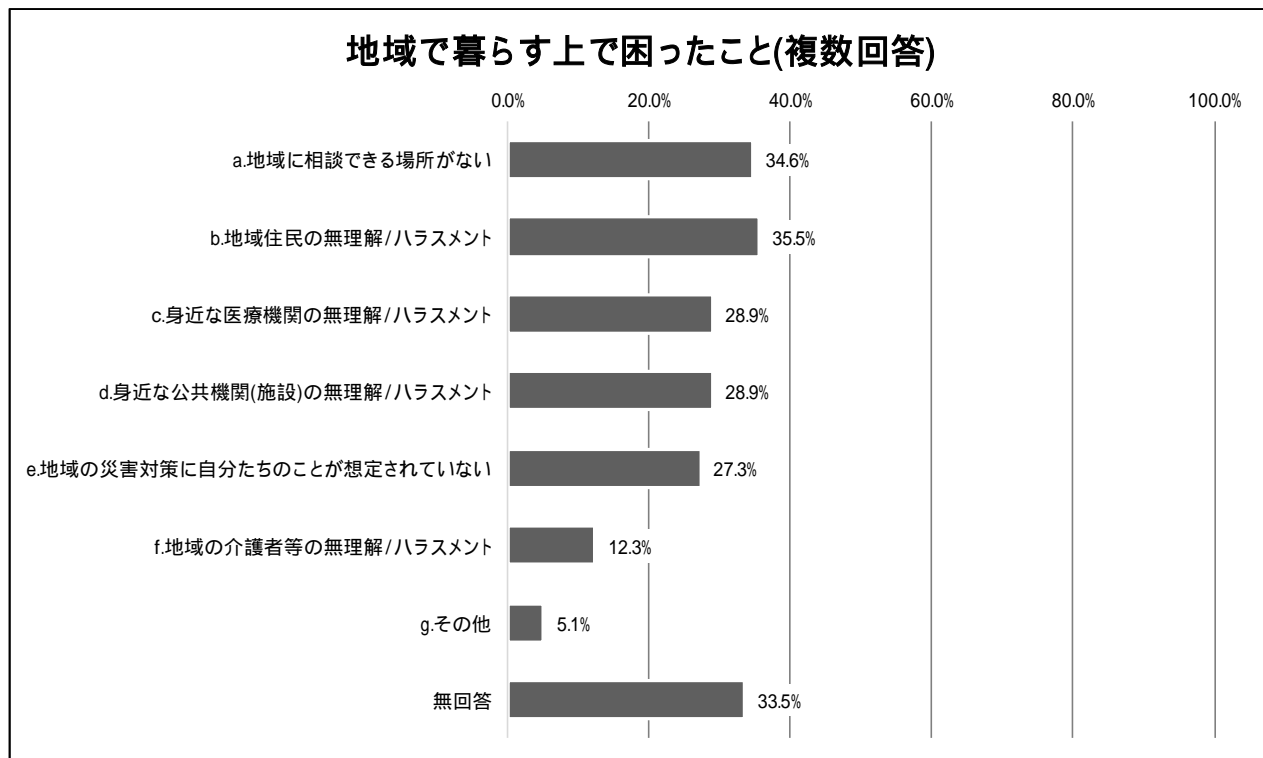




地域生活の上で困ったこと

Q22. あなたが、地域で暮らす上でジェンダー/セクシュアリティに由来し(LGBT 当事者であることで)困ったことや不安なことを教えてください。(複数回答可)

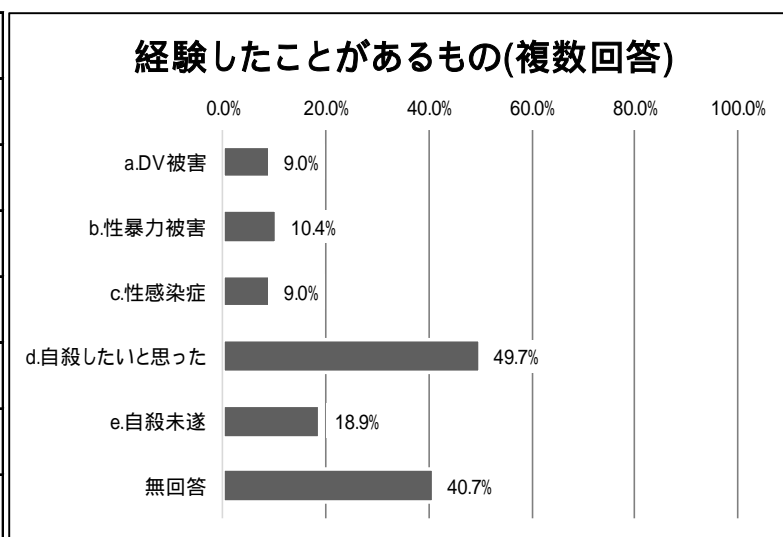
選択肢	回答数	割合
a.地域に相談できる場所がない	334	34.6%
b.地域住民の無理解/ハラスメント	343	35.5%
c.身近な医療機関の無理解/ハラスメント	279	28.9%
d.身近な公共機関(施設)の無理解/ハラスメント	279	28.9%
e.地域の災害対策に自分たちのことが想定されていない	263	27.3%
f.地域の介護者等の無理解/ハラスメント	119	12.3%
g.その他	49	5.1%
回答者数	642	66.5%
無回答	323	33.5%
計	965	100.0%



-1 その他

Q23. あなたが経験したことがあるものを教えてください。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
a.DV被害	87	9.0%
b.性暴力被害	100	10.4%
c.性感染症	87	9.0%
d.自殺したいと思った	480	49.7%
e.自殺未遂	182	18.9%
回答者数	572	59.3%
無回答	393	40.7%
計	965	100.0%



-2 困難や不安についての具体例

Q24. 困難や不安についての具体例がありましたらご記入ください。

## (9) 補足

## 回答者のセクシュアリティ分類

出生時の性	戸籍上の性	自認する性	好きになる性	人数		集計上の分類	
男性	男性	男性	男性	234	24.2%	レズビアン/ゲイ	
			男性、女性	17	1.8%	バイセクシュアル/ パンセクシュアル	
			性別は問わない	17	1.8%	他	
			好きにならない	5	0.5%		
			その他	2	0.2%		
		女性	男性	9	0.9%		
			女性	13	1.3%		
			男性、女性	7	0.7%		
			性別は問わない	21	2.2%		
			好きにならない	2	0.2%		
			その他	1	0.1%		
			どちらともいえない	14	1.5%		
	どちらともいえない	男性	1	0.1%			
		女性	1	0.1%			
		男性、女性	2	0.2%			
		性別は問わない	14	1.5%			
		好きにならない	5	0.5%			
	その他	その他	2	0.2%			
		男性	3	0.3%			
		性別は問わない	3	0.3%			
女性	女性	女性	男性	5	0.5%		
			女性	1	0.1%		
			男性、女性	1	0.1%		
			性別は問わない	2	0.2%		
			好きにならない	2	0.2%		
		その他	1	0.1%			
	どちらともいえない	性別は問わない	1	0.1%			
	その他	女性	1	0.1%			
	女性	男性	男性	男性	2	0.2%	
				女性	8	0.8%	
性別は問わない				1	0.1%		
その他				1	0.1%		
女性			女性	1	0.1%		
			性別は問わない	1	0.1%		
			男性、女性	1	0.1%		
どちらともいえない			性別は問わない	1	0.1%		
			男性、女性	1	0.1%		
			性別は問わない	1	0.1%		
		性別は問わない	1	0.1%			
		性別は問わない	1	0.1%			
女性		男性	男性	男性	3	0.3%	
				女性	57	5.9%	
				男性、女性	3	0.3%	
				性別は問わない	13	1.3%	
			その他	1	0.1%		
			女性	女性	148	15.3%	レズビアン/ゲイ
	男性、女性			54	5.6%	バイセクシュアル/ パンセクシュアル	
	性別は問わない	114		11.8%	他		
	好きにならない	15		1.6%			
	その他	15		1.6%			
	どちらともいえない	男性		7	0.7%		
	どちらともいえない	女性	40	4.1%			
		男性、女性	10	1.0%			
性別は問わない		28	2.9%				
好きにならない		9	0.9%				
その他		6	0.6%				
男性		1	0.1%				
その他		女性	5	0.5%			
		性別は問わない	19	2.0%			
	好きにならない	5	0.5%				
	その他	5	0.5%				
	女性	1	0.1%				
その他	女性	女性	1	0.1%	他		
		その他	1	0.1%			

トランスジェンダー	342
レズビアン/ゲイ	382
バイセクシュアル/パンセクシュアル	202
他	39

一部の設問においてセクシュアリティによる傾向があるという仮定から、集計分析にあたって上記のような分類を行いました。

パーセンテージは、該当人数 / 各セクシュアリティ分類ごとの合計人数で計算した際の数です。

就労について(Q13、Q20)

Q13 あなたの現在の雇用形態をお答えください。

	トランスジェンダー	レズビアン/ゲイ	バイセクシュアル/パンセクシュアル	他	計
a.正規の職員・従業員 (無期契約)	109 31.9%	200 52.4%	71 35.1%	14 35.9%	394 40.8%
b.派遣・契約・嘱託 (有期契約)	13 3.8%	42 11.0%	23 11.4%	2 5.1%	80 8.3%
c.パート・アルバイト	38 11.1%	20 5.2%	25 12.4%	2 5.1%	85 8.8%
d.会社役員	5 1.5%	5 1.3%	3 1.5%	0 0.0%	13 1.3%
e.自営業	17 5.0%	26 6.8%	7 3.5%	2 5.1%	52 5.4%
f.学生	100 29.2%	51 13.4%	50 24.8%	6 15.4%	207 21.5%
g.休業中 (育児・介護・病気等)	9 2.6%	5 1.3%	2 1.0%	3 7.7%	19 2.0%
h.家事	8 2.3%	2 0.5%	5 2.5%	1 2.6%	16 1.7%
i.無職	16 4.7%	16 4.2%	5 2.5%	3 7.7%	40 4.1%
j.その他	15 4.4%	5 1.3%	0 0.0%	2 5.1%	22 2.3%
回答者数	330 96.5%	372 97.4%	191 94.6%	35 89.7%	928 96.2%
無回答	12 3.5%	10 2.6%	11 5.4%	4 10.3%	37 3.8%
計	342	382	202	39	965

「正規の職員・従業員(無期契約)」として働く人による回答が多く、次いで「学生」による回答が多く確認されました。各セクシュアリティ分類のうち、「正規の職員・従業員(無期契約)」として働く人の割合は「トランスジェンダー」が31.9%と最も低く、「休業中」「無職」を選択した人の割合は「他」が7.7%と最も高い値で確認されました。

Q20. あなたが求職・就労時ジェンダー/セクシュアリティに由来し(LGBT 当事者であることで)困ったことを教えてください。(複数回答可)

	トランス ジェンダー	レズビアン/ゲイ	バイセクシュアル/ パンセクシュアル	他	計
a.求職(就活、転職)時の採用選考における差別/ハラスメント	75 21.9%	37 9.7%	15 7.4%	1 2.6%	128 13.3%
b.求職(就活、転職)時の就労支援機関での差別/ハラスメント	47 13.7%	25 6.5%	7 3.5%	1 2.6%	80 8.3%
c.職場での差別/ハラスメント	106 31.0%	138 36.1%	38 18.8%	6 15.4%	288 29.8%
d.同性パートナーに対し福利厚生がない	74 21.6%	160 41.9%	48 23.8%	2 5.1%	284 29.4%
e.職場での性別移行にサポートがない	83 24.3%	15 3.9%	5 2.5%	0 0.0%	103 10.7%
f.就労の困難に伴う貧困や低所得	86 25.1%	36 9.4%	15 7.4%	1 2.6%	138 14.3%
g.その他	64 18.7%	37 9.7%	20 9.9%	8 20.5%	129 13.4%
回答者数	235 68.7%	261 68.3%	95 47.0%	17 43.6%	608 63.0%
無回答	107 31.3%	121 31.7%	107 53.0%	22 56.4%	357 37.0%
計	342	382	202	39	965

全体では「職場での差別/ハラスメント」が29.8%と最も高く、次いで「同性パートナーに対し福利厚生がない」が29.4%と高く、こちらは「レズビアン/ゲイ」「バイセクシュアル/パンセクシュアル」において最も高い数値となっています。

#### 困難について

Q19. あなたが、子どもの頃にジェンダー/セクシュアリティに由来し(LGBT 当事者であることで)困ったことを教えてください。(複数回答可)

	トランス ジェンダー	レズビアン/ゲイ	バイセクシュアル/ パンセクシュアル	他	計
a.学校でのいじめ/暴力	99 28.9%	124 32.5%	16 7.9%	2 5.1%	241 25.0%
b.不登校	51 14.9%	32 8.4%	8 4.0%	2 5.1%	93 9.6%
c.保護者からの無理解	146 42.7%	135 35.3%	58 28.7%	7 17.9%	346 35.9%
d.教職員からの無理解	136 39.8%	129 33.8%	39 19.3%	6 15.4%	310 32.1%
e.ジェンダー/セクシュアリティに関する正しい情報の不足	256 74.9%	255 66.8%	114 56.4%	18 46.2%	643 66.6%
f.その他	58 17.0%	46 12.0%	23 11.4%	6 15.4%	133 13.8%
回答者数	293 85.7%	316 82.7%	144 71.3%	22 56.4%	775 80.3%
無回答	49 14.3%	66 17.3%	58 28.7%	17 43.6%	190 19.7%
計	342	382	202	39	965

全体では、「ジェンダー/セクシュアリティに関する正しい情報の不足」が66.6%と最も高い値となりました。全体では25.0%と約4人に1人が、「レズビアン/ゲイ」においては32.5%と約3人に1人が「学校でのいじめ/暴力」を、また「トランスジェンダー」において14.9%と約7人に1人が「不登校」を経験していたことが分かります。背景には「教職員の無理解」や「ジェンダー/セクシュアリティに関する正しい情報の不足」があった可能性があります。

Q23. あなたが経験したことがあるものを教えてください。(複数回答可)

	トランス ジェンダー	レズビアン/ゲイ	バイセクシュアル/ パンセクシュアル	他	計
a.DV被害	38 11.1%	31 8.1%	13 6.4%	5 12.8%	87 9.0%
b.性暴力被害	46 13.5%	20 5.2%	26 12.9%	8 20.5%	100 10.4%
c.性感染症	11 3.2%	63 16.5%	11 5.4%	2 5.1%	87 9.0%
d.自殺したいと思った	229 67.0%	171 44.8%	68 33.7%	12 30.8%	480 49.7%
e.自殺未遂	103 30.1%	57 14.9%	16 7.9%	6 15.4%	182 18.9%
回答者数	246 71.9%	226 59.2%	83 41.1%	17 43.6%	572 59.3%
無回答	96 28.1%	156 40.8%	119 58.9%	22 56.4%	393 40.7%
計	342	382	202	39	965

「自殺したいと思った」は、「トランスジェンダー」において 67.0%、「レズビアン/ゲイ」において 44.8%と経験割合の高さが確認されます。また、「トランスジェンダー」の約 3 人に 1 人が「自殺未遂」を経験しています。

(10)用語解説

LGBT	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった言葉
レズビアン	こころの性が女性の方が、同じくこころの性が女性の人を好きになること(同性愛)、またその人。女性同性愛者。
ゲイ	こころの性が男性の方が、同じくこころの性が男性の人を好きになること(同性愛)、またその人。男性同性愛者。
バイセクシュアル	男性も女性も好きになること(両性愛)、またその人。両性愛者。
トランスジェンダー	からだの性とこころの性が一致しない状態、またその人。
パンセクシュアル	すべてのセクシュアリティを恋愛の対象とする状態、またその人。
性自認	自身の性別の認識の持ち様を表す性。
性的指向	どの性別を恋愛の対象とするかを表す性。
セクシュアリティ	性自認や性的指向を含めた性のあり方。
カミングアウト	自身のセクシュアリティを他者に伝えること。
性同一性障害	からだの性とこころの性が一致しないために、自らのからだの性に持続的な違和感を持ち、こころの性に一致する性を求め、時にはからだの性をこころの性に近づけるために性の適合を望むことさえある状態を指す医学的な疾患名。